

# 琉球大学学術リポジトリ

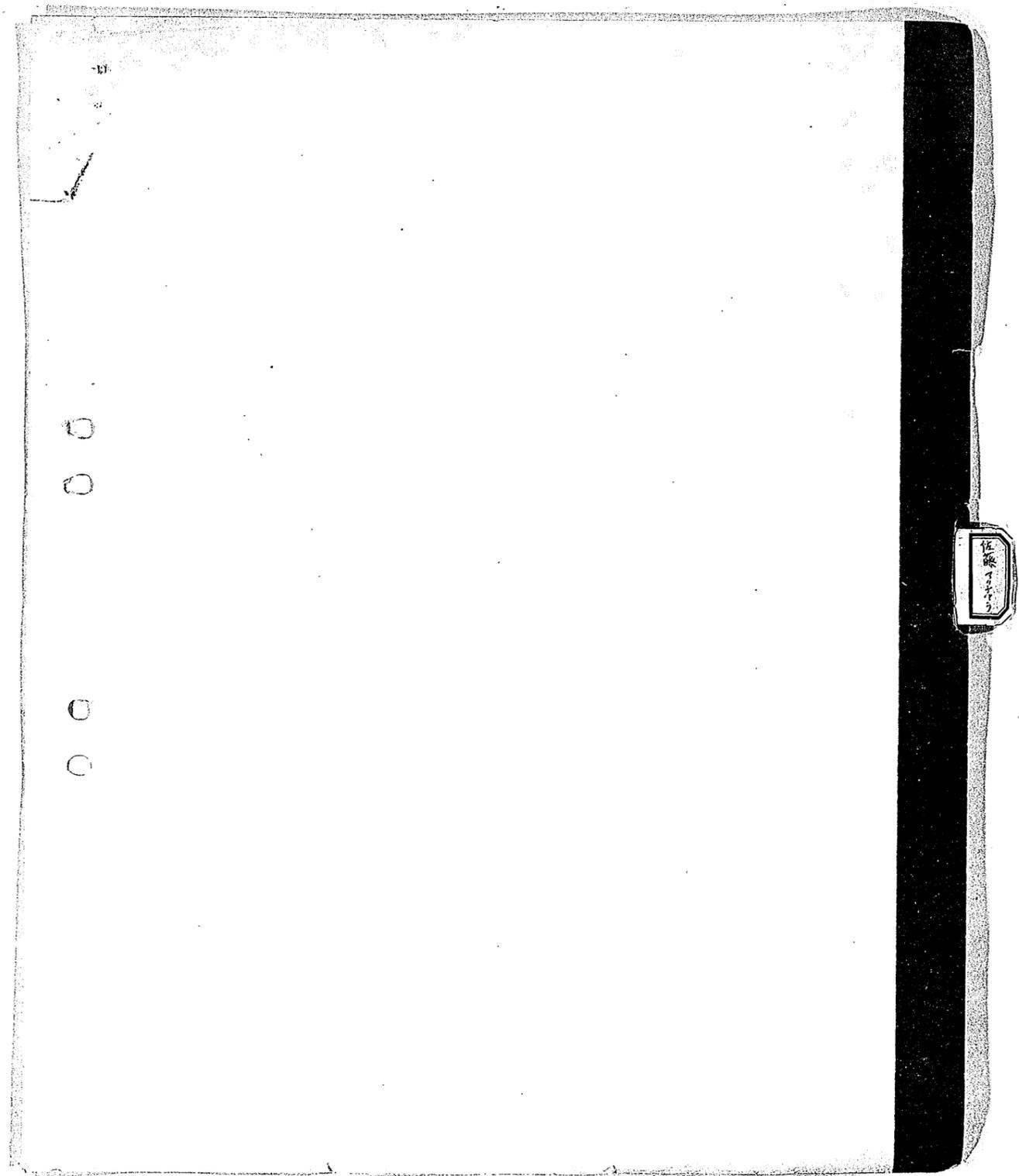
## 日米関係（沖縄返還）47

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43847">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43847</a>

佐藤・マラナマラ会談

(42.11.14)

佐藤  
マラナマラ



大臣  
事務次官  
外務審議官  
近藤外務審議官  
官房長

北米局長

北米局長  
参事官  
北米課長

極秘  
無期限  
部の内  
号

佐藤総理・マクマゴ国防長  
会談録

14日午後5時40分(1時)の総理のマクマゴ  
国防長と会談した内容を記録したものである

(出席 三木大臣、本村外務長、下田大佐、森外務  
審議官、東郷北米局長、渡辺(記録)、近藤、島内)

補席 ワーニ次官補、ハルバリン補佐官、ウイ  
ル通訳官)

総理: どちらから先に話されるでしょうか  
長官: 総理からどうぞ

総理: 今日大渡急から<sup>米</sup>本米買収の話があるが、  
中から200万に驚いた。出発前に、本米の取扱い

助官の要する金は200万だが、切下げの請求がある  
とすれば200万から、何か200万の増額か

米子か。  
日本は切下げの金は200万、かんけい。

同時に例の5億ドルの問題については検討し  
たが、今はその申入れは米子か、この5億ドル

ルとある、金額も少なく、申入れは米子か、この5億  
配したから、小委員会に1000万の検討したから、

た、ドイツと日本の事情がわかる。日本の外貨事  
情を整理する。特に配したものは、中期

債への切下げとある、その切下げは19億から20億  
に減らす。半年は~~半年~~FYのりり、~~半年~~  
は、200万(か) 200万(か) 中期債

は、200万、さらにFYのりりに増や、外貨確保が無理に  
なる、さらに、Eスポーツに智慧があるか、検討

した。  
長官: 総理の言われた通り、わが国は小委員会を

作に控訴するに似る。外国為替打替<sup>セリ</sup>の問題は、自分の直接の責任では無いが、国内は

尤も、存在する。本単に財政上の問題で  
ないが、互に互に責任が負からず、  
政治的

相対的、自由貿易防壁の責任を負うに付く  
存在する。 impatient に存在する。(

尤も、日本は <sup>か</sup> 小々々々援助してくるに付、  
非常に大切である。財政的責任を負うに付く

うが、自由貿易の防壁に対する日本の参加が  
大切である。

総理：日本は、軍事的援助は一切せず。本  
は、半国政府を理解するに付く。今、世

は、経済、財政的役割を果す。しかし、国  
難である。本単防壁、ドル防壁、ドル防壁、借

教育が最も、控訴する。しかし、今の存在  
は、本意に申すに付く。

要旨： 総理のリーダーシップの下に、諸国の  
経済開発のため、日本の役割が増大する

と見られる。今後、この役割を増大  
するのを希望する。半国内に、引退した

の努力に対する批判がある。これは、半国内が  
存在、他の大國が貢献するに付く。感

に付く。半国内の引退した流れを、半国内  
に付く。理解するに付く。思ふに付く。半国内

である。今、日本は、今後、経済的、政  
治的、文化、究極的に、軍事的役割を増

大にするに付く。西國の利益に <sup>合致する</sup> ~~相~~ する

5  
総理： 同感であり、東南アジア諸国を丁度した  
が、米国の犠牲、自由を守る努力は高く評

価である。その、ワシントンに和平が実現す  
るにがんばる（ワシントン、ニューデリー、

オーストラリアにいたるは、<sup>北の国</sup> 米兵増加決定を非難  
する、北の国、国民の支持が衰えつつある。

日本に、一部には、ワシントン問題、北爆等に  
無理解の発言が相次ぐ、米国の犠牲、

努力に対し、おぼろげに思うが、行方不明の米  
兵の帰還は望む、自分のワシントン訪問

は昔の総理が近く、北の国、短縮せよとの不  
満は、北の国、ワシントンに先会との残念を

表す、北の国、<sup>キ</sup> 北の国、ワシントン人か  
国民の新しい国造りを望む、北の国、

6  
北、米軍の規律厳正を高く評価する、北の  
に認められた。

長官： 総理の今回の行動と発言は、上に申し上げ  
たリターンシップの一の成果である、北の勇

気な行動であり、日本がアジア諸国民の自由  
状況に心をもち、北の国に信

じてほしいと希望する、  
総理： 感謝、北の国、北の国は北の国

北の国、北の国、北の国、北の国、北の国、  
北の国、北の国、北の国、北の国、北の国、

難し、北の国、北の国、北の国、北の国、  
北の国、北の国、北の国、北の国、北の国、

北の国、北の国、北の国、北の国、北の国、  
北の国、北の国、北の国、北の国、北の国、

たかす呼ぶか付くまを逆にするべきか  
何か 案に付く際より先話しておいた協

力した

~~長官~~ 長官: 道理は、他の国への旅行に先言及すべき

か、ビルマ、マレーシア、インドネシアの各々に肉付  
をすべき。

道理: ビルマは清承継の行に中共と仲たか  
し、その意は、中共がビルマを同胞扱

いに認許、バングラデシュを要し、反英を受け、ビ  
ルマが独立したものである。ビルマがタイより

らに譲渡時に協力すべきかという、譲渡時  
にも多く、中共と陸境とのため、中共と手を切

たというに止る。ネーデルは戦時中日軍に協  
力、日本に教育を受けた人、(送米、中共寄り)

を是正し、自らに親切にして、小を  
独立の意気に協力した。

長官: 北の国への旅行に先言及、半島の努力に  
対する懸念はどうか。

道理: 譲渡時に付、中共と陸境とのためと  
解釈した。マレーシア、~~シンガポール~~ シンガポールは中国

系が多く、中国内政には一切触れず、中共  
台湾に付く承諾し、その立場である。マ

レーシアは国境附近の共産勢力を抑制し協力  
に誘致、~~半島~~ 半島が撤退しては、(にかく国  
境を閉ざす)

4. 同時に早く平和に行き、その立場である  
5. その譲渡時懸念はどうかという、(付

北は中共と記録した。北越には公館を  
開設した。その北の情報は何か取れる

かたし小石の意思は一新しきものがある、  
 小石の言は 27-19-21 に 22-1 まで  
 いう珍しい見解を述べ、それには、清潔、積極  
 的、好政論で独立を達成しようとしている、しかし  
 食糧の困乏の傾向は、3つ、借款計画は今  
 月半の22日までに決定するから、大切な  
 ことだと思ふ。  
 長文： 22日の態度は どうであるか。  
 訳理： 中華との絶縁は、北は好意をもち  
 たいわけである。しかし一般論には、他国と  
 同じ態度である、中国米米利、<sup>長年の</sup>悪国籍を  
 中国への態度は、好ましくない。特に、  
 主義に700は、好ましくない。  
 長文： 日本国民は 中華の接能力の増大にどう

うに反応していか。  
 訳理： 小石の言は、政府側の許  
 乏か弱いせいか、我党の言は声が大々  
 文に説明する、日本の平和憲法 ~~は~~  
 (安全)   
 安全であり平和の心、と言ふ言はうけ  
 かし、特に中華は、この時、核兵器を作  
 るか否を問ふは、ある、特に、U-2等の  
 核兵器の技術が来り、自分は、日本の安全  
 確保のため、接をせざるべし、と決心し  
 たいから、半国の接の今の下、安全を確保  
 する、大前提は3年前 ~~は~~  
 文は、  
 長文： ~~は~~、<sup>この時</sup>、~~は~~、  
 問題がある、~~は~~、日本に、

sensitivity に対する 日本国は 希望の方向に  
は 承知している。当然のことと思う。この諸

島は 日本 返還 対象 である。 (They  
are bound to return) 内閣は 返還 には  
(従って)

承知している。 米国の 基地 による。 中共の 接  
触 威嚇 に対する。 安全保障。 接 合 トラ トラ

に 対する 非 同盟 国の 保護 等 一連 の 問題  
の unwritten premise は 保護 を 受ける 例

か。 保護 例 例 と の 共通 の 利益 と して。 保護  
例 例 が必要 な 行動 を する こと が 可能 に する

こと である。 米 国 の 軍事 基地 を  
非 同盟 国の 露 出 状態 に して おく こと  
(exposed)

は ない。 日本 米 国 双方 の 利益 に 反  
する。 ~~日本 政府 国民~~。 日本 の 基地 を

operate する こと 許可 する こと。 したがって。 時間  
は かなり 短い。 究極 的には 接 合 器 の 使用 可

ら ず 元 米 国 領 土 である。 米 国民 は。 米 国 領 土  
に 対して 地球 の 日本 の 支持 する こと。 行

動 に対して 政治 的 承認 する。 operate する  
こと 許可 する こと である。 日本 が 接 合

器 使用。 作 業 行動 の 自由 を 許可 する こと 困難  
な こと。 時間 かなり 短い。 承 知 している こと。 国

民 国。 米 国 自 分 の 安全 保障 の ため である。 承 知  
している こと。 緊急 事態 が 発生 する。 接 合

器。 安全保障 的 相 同 性 がある。 今後 共  
同 に 検討 する。

注 理: 今 の 前提 の 諸 条件。 承認 して。 日本  
は 相 集 の 安全 の 中 に 自 分 の 安全 を 確保 する べき

と考へ、10月4日半夜に状況が他国の支配  
下にあり、国民に有害なる事あり

と考へ、是れ2つの目的を同時に達成する  
法があるならば、迅速に軍事力

が弱まる、或は、軍事的力のみに迅速に  
動く事は、両方が矛盾せざるに満

足る方法あり、特介して、状況に半軍  
加圧の安全あり、其が弱まる事は

心配あり、と言ふは、是れ自分の軍事  
作戦は弱まるから安心するに言ふ、即

時迅速に作らば、一定の期間、一定の目  
途がある事は、原潜をインターフェイス

入るに於ては、国民教育の必要あり、  
此の2つを共に生かす、其が真の

日米友好親善関係の改善あり、下等には  
日米関係の改善が要する、何年にと

いつかは決まらざる、是れ西国の合意  
のあり時か迅速にありやうに考

えは、先づ、今の状況に接基地、  
自由(米)と論議するに早い、帰る時は

早く論議がつかすは、今は議論  
が先走、是れ

日本国民に希望を与え、日米友好親善の  
ためにして、何れも等あり時に非常激

く思ふが、是れは、国民感情  
が、本を取らば、好む所あり、是れに事あり

あり、  
~~是れは、国民感情が、本を取らば、好む所あり、是れに事あり~~

三本大臣: 施政方針選定の方針の下に外交ルートに  
より協議を行いたい。日本がその選定を

より進めたい。(その場合は政治的に困難  
がある)

長官: 日本は政治的に死力を尽す。同時に  
日本は22ヶ国との交渉がある。この

22ヶ国との交渉は、時に、価値がある。日本は  
は、~~日本~~ work on (その場合は、その)

総理: 22ヶ国との交渉は、1990年等とは自分自身  
で進めたい。

長官: 日本、韓国、台湾等々、半軍に在る。日本  
長官: 日本国民の希望、政治的に死力を尽す。

命、この問題については、明日大決定か  
ら決定する。この地域の安全は

・懸念  
降、この問題の論議は、全く同様に、  
総理: この問題の是非に日本が逆の日本

内閣に、この解決、大多数の国民は、本意  
に許さないと希望している。国民に希望を

それ、協力を得るべきである。この  
は、基地の維持に、特に大切である。

~~日本は~~